

教育や環境など、幅広い分野で地域社会に貢献しています



子どもたちの学びや成長を応援する物品を寄贈
CSR私募債「つながり」が好評!

発行数

340件
超!

企業さまのCSR私募債※発行記念として、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、学校等に、図書やスポーツ用品など、「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を寄贈しています。2014年11月の取扱開始から、本私募債の発行は344件にのぼります。これまで延べ279の小学校等に、合わせて4,600万円相当の寄贈品を贈呈しました。(2018年3月末時点)



CSR私募債とは

財務内容等の厳しい適債基準を満たし、かつ当行独自の環境格付「PLB格付」にて一定水準の格付を得られた企業さまが発行される債券



助成累計

481件
累計3.6億円
(創立34年目)

地域社会の福祉の向上を願って

しがぎん福祉基金助成金贈呈式を開催

2018年4月23日、「しがぎん福祉基金助成金贈呈式」を開催。今年度は8団体に総額662万円の助成金を贈呈しました。また、昨年の助成先のうち2団体が助成事業について成果を発表。地域福祉の実験的・開拓的な取り組みをされている団体が一堂に会し情報を共有する貴重な機会となりました。今後も福祉の輪が広がり、「地域共生社会」の実現に向けた一助となる事を願い、事業を展開してまいります。



地域の課題解決を起点としたビジネス創出を評価!
第2回「グリーン・オーシャン大賞」で協賛企業賞を受賞

「グリーン・オーシャン大賞」(はSDGs(※P3、4参照)が提唱する社会的課題解決を起点としたビジネス創出の優秀事例を表彰するものです。「GAP認証」を活用し、「金融」の役割を通じて農業の発展を支援する取り組みが評価されました。



GAP (Good Agricultural Practice) とは ?

「GAP」とは、直訳すると「良い農業の取り組み」という意味。「GAP」は農作物の安全性だけでなく、環境に優しい農業を目指すことや、作業員に対する適切な労務管理など、農業活動全般における生産工程管理の取り組みを指し、認証を取得することで生産者の競争力向上にもつながります。県内に「GAP認証」を取得する生産者が増加することで、地域経済・産業の振興が期待されます。

◆ 地域と取り組む環境ボランティアの輪

地域に根ざす銀行として、琵琶湖を中心とした環境保全活動を継続的に行っています。その取り組みは年々広がり、各地域とさまざまな活動を展開しています。



伊吹スキムリ



ヨシムリ



ビワマス湖上プロジェクト



オオパナミズキンバイ除去大作戦